


新旧対照表（令和８年２月１日適用）

現行	改定後
第１条 適用範囲	第１条 適用範囲
第２条 用語の定義	第２条 用語の定義
第３条 ワンデーレスポンス	第３条 ワンデーレスポンス
第４条 ウィークリースタンス	第４条 ウィークリースタンス
第５条 その他（週休２日制度）	第５条 その他（週休２日制度）
第 ６条 施工地および索道線下などの伐採について	第 ６条 施工地および索道線下などの伐採について
第 ７条 土石流の発生するおそれのある降雨について	第 ７条 土石流の発生するおそれのある降雨について
第 ８条 支給材料及び貸与品	第 ８条 支給材料及び貸与品
第 ９条 再生資源の利用促進につい	第 ９条 再生資源の利用促進につい
第10条 産業廃棄物管理票（マニフェスト票）について	第10条 産業廃棄物管理票（マニフェスト票）について
第11条 建設副産物	第11条 建設副産物
第12条 監督員による検査（確認を含む）及び立会等について	第12条 監督員による検査（確認を含む）及び立会等について
第13条 数量の算出及び完成図	第13条 数量の算出及び完成図
第14条 工事の下請負	第14条 工事の下請負
第15条 施工体制台帳	第15条 施工体制台帳
第16条 工事中の安全確保	第16条 工事中の安全確保
第17条 支障木の除去	第17条 支障木の除去
第18条 工事区域の立入防止施設	第18条 工事区域の立入防止施設
第19条 爆発及び火災の防止	第19条 爆発及び火災の防止
第20条 後片付け及び原状回復	第20条 後片付け及び原状回復
第21条 環境対策・公害防止	第21条 環境対策・公害防止
第22条 交通誘導警備員の資格等（交通誘導警備員配置の工事）	第22条 交通誘導警備員の資格等（交通誘導警備員配置の工事）
第23条 諸法令の遵守	第23条 諸法令の遵守
第24条 排出ガス対策型建設機械の使用について	第24条 排出ガス対策型建設機械の使用について
第25条 不正軽油の使用の禁止	第25条 不正軽油の使用の禁止
第26条 電子納品	第26条 電子納品
第27条 工事写真管理	第27条 工事写真管理

新旧対照表（令和 8 年 2 月 1 日適用）

現行	改定後
<div>第 28 条 花と緑のあふれる美しい県土づくりシンボルマークの表示</div> <div>受注者は、工事期間中、下記のとおり花と緑あふれる美しい県土づくりシンボルマークを工事標示板に表示し、工事現場に設置しなければならない。</div> <div><div><div>花と緑あふれる美しい県土づくりシンボルマーク</div><div><div>花と緑あふれる美しい 県土をつくります</div><div></div><div>タテ 400 ×ヨコ 950</div><div>※図柄と文字のバランスは、上図を参考とする。</div></div><div><div>【固色】</div><div><div>花と緑あふれる美しい 県土をつくります</div><div></div></div><div><div>マスコット展開図使用色</div><div><div><div>① C100 M40 DIC 641</div><div>③ C90 Y100 DIC 638</div><div>⑤ M40 Y100 DIC 163</div><div>⑥ K100 DIC 582</div></div><div><div>② C90 M20 DIC 181</div><div>④ M10 Y100 DIC 166</div><div>⑥ M100 Y90 DIC 157</div></div></div><div>注）花卉や下地は、白色とする。</div></div></div></div></div>	<div>(削除)</div>

新旧対照表（令和 8 年 2 月 1 日適用）

現 行	改 定 後
<p>第 29 条 工事歴板、工事標柱等 (略)</p> <p style="text-align: center;"><b>治山、林道等工事現場における標示板設置基準</b></p> <p style="text-align: right;">昭和 54 年 5 月 11 日 治 第 130 号</p> <p>(目 的)</p> <p>第1 この基準は兵庫県が施工する治山、林道及び林業構造改善事業の工事現場における安全管理について、地域住民及び通行者等の理解と協力を求め、かつ行政広報活動を図るため、標示物の設置等について定める。</p> <p>(実施方法)</p> <p>第 2 治山課及び林務課の事務を所掌する地方機関の長(以下「所長」という。)は、契約金額 1 件 500 万円以上の工事について、請負者にこの基準に定める工事標示板を設置させるものとする。ただし、所長が標示板の設置効果がないものと判断したときは、これを設置しないことができる。</p> <p>2 請負者に設置させた工事標示板は、当該工事完成と同時に撤去させるものとする。</p> <p>3 所長は、事業費(以下工事費及び立木補償費等の合計額を事業費等という。) 500 万円以上の工事について、着工までに関係市町の広報主管課にその概要を通知するものとする。</p> <p>(実施基準)</p> <p>第 3 工事標示板は、別表－1 に定める「工事標示板設置基準」により、原則として工事契約 1 件ごとに 1 箇所に設置するものとする。</p>	<p>第 28 条 工事歴板、工事標柱等 (略)</p> <p style="text-align: center;"><b>治山、林道等工事現場における標示板設置基準</b></p> <p style="text-align: right;">令和 8 年 1 月 23 日 治 第 2266 号</p> <p>(目 的)</p> <p>第2 この基準は兵庫県が施工する治山、林道及び林業構造改善事業の工事現場における安全管理について、地域住民及び通行者等の理解と協力を求め、かつ行政広報活動を図るため、標示物の設置等について定める。</p> <p>(実施方法)</p> <p>第 2 発注者は、契約金額 1 件 1,000 万円以上の工事について、受注者にこの基準に定める工事標示板を設置させるものとする。ただし、発注者が標示板の設置効果がないものと判断したときは、これを設置しないことができる。</p> <p>2 受注者に設置させた工事標示板は、当該工事完成と同時に撤去させるものとする。</p> <p>3 発注者は、事業費(以下工事費及び立木補償費等の合計額を事業費等という。) 1,000 万円以上の工事について、着工までに関係市町の広報主管課にその概要を通知するものとする。</p> <p>(実施基準)</p> <p>第 3 工事標示板は、別表－1 に定める「工事標示板設置基準」により、原則として工事契約 1 件ごとに 1 箇所に設置するものとする。</p>

新旧対照表（令和８年２月１日適用）

現行	改定後
<p>２ 同一事業であつて、連続又は近接した数工区の工事を同一時期に実施する場合、合同で大きい工事標示板を設置することが第１の目的に照らして有効と判断されるときは、<b>所長</b>は前項にかかわらず数工区合併した工事標示板を設置させることができる。</p> <p>（設置場所）</p> <p>第４ 工事標示板は、工事区域内又はその付近地で広報効果の高い位置を選んで設置するものとする。</p> <p>２ 設置場所は、法令の規制及び土地所有者の承諾等を勘案して決定するものとする。</p> <p>（工事標示板の構造等）</p> <p>第５ 工事標示板は、耐風雨性のある材質を用い、飛散して他に危害を及ぼすことのないような強固な構造にするものとする。</p> <p>２ 工事標示板の文字及びデザインは、<b>色彩、意匠構造等が都市美</b>、自然環境を<b>著しく</b>損なわないものとする。</p> <p>３ 工事標示板は原則として、地は白地、文字は黒地とし、<b>標準断面図、鳥かん図</b>等は適宜の色とする。</p> <p>（工事標示板の記載内容）</p> <p>第６ 工事標示板の記載内容は、別表－１を標準とするほか次の各項によるものとする。</p> <p>１ 工事名称は、予算分類上の事業名にこだわらず、工事内容のわかる一般的な名称を用いること。</p> <p>２ 標示図は、工事規模に対応して略平面図、標準<b>断面図</b>、完成予想図、<b>鳥かん図等</b>から選び工事の全容又は施工内容が視覚的に<b>わかるよう</b>表現すること。</p> <p>３ 当該工事が部分的な場合には、同一事業の工事の全容がわかるように、全体標準断面図、完成予想図等を<b>積極的に活用</b>すること。この場合、全体と施</p>	<p>２ 同一事業であつて、連続又は近接した数工区の工事を同一時期に実施する場合、合同で大きい工事標示板を設置することが第１の目的に照らして有効と判断されるときは、<b>発注者</b>は前項にかかわらず数工区合併した工事標示板を設置させることができる。</p> <p>（設置場所）</p> <p>第４ 工事標示板は、工事区域内又はその付近地で広報効果の高い位置を選んで設置するものとする。</p> <p>２ 設置場所は、法令の規制及び土地所有者の承諾等を勘案して決定するものとする。</p> <p>（工事標示板の構造等）</p> <p>第５ 工事標示板は、耐風雨性のある材質を用い、飛散して他に危害を及ぼすことのないような強固な構造にするものとする。</p> <p>２ 工事標示板の文字及び<b>色彩</b>、デザインは、<b>景観に配慮し</b>、自然環境を損なわないものとする。</p> <p>３ 工事標示板は原則として、地は白地、文字は黒地とし、図<b>面</b>等は適宜の色とする。</p> <p>（工事標示板の記載内容）</p> <p>第６ 工事標示板の記載内容は、別表－１を標準とするほか次の各項によるものとする。</p> <p>１ 工事名称は、予算分類上の事業名にこだわらず、工事内容のわかる一般的な名称を用いること。</p> <p>２ 標示図は、工事規模に対応して略平面図、標準<b>横断</b>図、完成予想図から選び工事の全容又は施工内容が視覚的に<b>理解できる表現</b>にすること。</p> <p>３ 当該工事が部分的な場合には、同一事業の工事の全容がわかるように、全体標準断面図、完成予想図等を<b>標示</b>すること。この場合、全体と施工部分の関連を色彩等により区別して、わかり易く標示すること。</p>

新旧対照表（令和 8 年 2 月 1 日適用）

現行	改定後
<p>工部分の関連を色彩等により区別して、わかり易く標示すること。</p> <p>4 全体事業費及び工期の明らかな事業については、その総額(100 万円単位)及び全体完成予定年次を( )書きで併記する。</p>	<p>附則</p> <p>この基準は令和 8 年 2 月 1 日より適用する。</p>

新旧対照表（令和 8 年 2 月 1 日適用）

現行

改定後

別表-1 工事標示板設置基準					
区分	工事標示板設置者及びその管理者	標示方法及び標示板形式	工事標示板の記載内容	備 考	
工事規模	関係者	工事標示板：様式-1 (別表-2) 標示板の大きさ (タテ) (ヨコ) 140cm × 110cm 支柱台による設置又は支柱 による固定	① 工事名称 ② 工事内容 ③ 施工延長、職員等の基本施工諸元 ④ 工事費 (千万円単位以下は切り上げ) ⑤ 工事施工場所 ⑥ 工事完成予定年月 ⑦ 工事関係者及び設計監理者(事務所名)	明細施工日数20日以内と規定される工事は工事標示板を省略することができる。	
		工事標示板：様式-2 (別表-2) 標示板の大きさ 3.0m以上 1枚以上設置 門型支柱を標準	① 工事名称 ② 工事内容 ③ 施工延長、職員等の基本施工諸元 ④ 工事費 (千万円単位以下は切り上げ) ⑤ 工事施工場所 ⑥ 工事完成予定年月(及び休事業完成予定年次) ⑦ 工事関係者及び設計監理者(事務所名)		
		工事標示板：様式-3 (別表-2) 標示板の大きさ 6.0m以上 1枚以上設置 門型鋼筋支柱	① 工事名称 ② 工事内容 ③ 施工延長、職員等の基本施工諸元 ④ 工事費 (千万円単位以下は切り上げ) ⑤ 工事施工場所 ⑥ 工事完成予定年月(及び休事業完成予定年次) ⑦ 工事関係者及び設計監理者(事務所名)	(1)及び(II)による方法で行政広域自治体を通知するときは、(II)は除く。	

別表-1 工事標示板設置基準					
区分	工事標示板設置者及びその管理者	標示方法及び標示板形式	工事標示板の記載内容	備 考	
工事規模	関係者	工事標示板：様式-1 (別表-2) 1枚以上設置 原則、門型支柱にて設置 寸法 高さ 140cm以上 幅 110cm以上	① 工事名 ② 工事場所 ③ 工事期間 ④ 工事費 ⑤ 工事関係者(事務所名)	・ 明細施工日数 20 日以内と規定される工事は工事標示板を省略することができる。	
		工事標示板：様式-2 (別表-2) 1枚以上設置 原則、門型支柱にて設置 寸法 高さ 170cm以上 幅 180cm以上	① 工事名 ② 工事場所 ③ 工事期間 ④ 工事費 ⑤ 工事関係者(事務所名)	・ (1) 及び (II) による方法で行政広域自治体を通知するときは、(II) は除く。	
		工事標示板：様式-3 (別表-2) 1枚以上設置 原則、門型支柱にて設置 寸法 高さ 200cm以上 幅 200cm以上	① 工事名 ② 工事場所 ③ 工事期間 ④ 工事費 ⑤ 工事関係者(事務所名)	・ (1) 及び (II) による方法で行政広域自治体を通知するときは、(II) は除く。	

現 行		改 定 後	
別表-2	工事標示板の様式	別表-2	
		工事標示板の様式	
工事標示板の記載様式（標準）	様式-1	様式-1	様式-1
	様式-2	様式-2	様式-2
	様式-3	様式-3	様式-3

新旧対照表（令和８年２月１日適用）

現行	改定後
<p data-bbox="156 319 1097 454">「土木工事現場における標示板設置基準」運用上の留意事項</p> <p data-bbox="156 494 369 542">(実施方法)</p> <p data-bbox="156 566 1097 638">１．「<b>所長</b>が標示板の設置効果がないと判断したときは設置を省略できる」</p> <p data-bbox="212 646 1097 726">これは、工事現場箇所による判断ではなく、工事執行上のトラブルをさける等行政的判断を<b>基準として対応するものとする。</b></p> <p data-bbox="212 734 1097 901">砂防工事、河川工事及び港湾工事等で工事現場が人家<b>連担区域</b>あるいは通行者の利用場所等により離れている場合は工事現場進入口、工事<b>施工区域</b>附近等の工事標示板の設置効果があると思われる位置に<b>積極的に</b>設置する<b>ものとする。</b></p> <p data-bbox="156 909 1097 981">２．「工事現場、請負条件等により請負設置させることが適当でないとみとめられるもの」</p> <p data-bbox="212 989 1097 1109">別表－１の（Ⅲ）を標準とし、工事請負契約内容を大幅に超えて、鳥かん図、土地利用計画図、完成予想図等を作成する行政広報活動が主体である場合とする。</p> <p data-bbox="212 1117 1097 1236">この工事標示板（別表－１－Ⅲ）の設置時期は最も設置効果のある時期を所長が決定するものとし、必ずしも事業の開始時にこだわる必要はない。</p> <p data-bbox="156 1268 369 1316">(設置場所)</p> <p data-bbox="190 1340 1097 1412">１．設置場所はできるだけ公共用地とし、道路管理者、河川管理者等それぞれの管理 者の承諾を得ること。</p>	<p data-bbox="1120 319 2072 454">「<b>森林</b>土木工事現場における標示板設置基準」運用上の留意事項</p> <p data-bbox="1120 494 1332 542">(実施方法)</p> <p data-bbox="1120 566 2072 638">１．「<b>発注者</b>が標示板の設置効果がないと判断したときは設置を省略できる」</p> <p data-bbox="1176 646 2072 726">これは、工事現場箇所による判断ではなく、工事執行上のトラブルをさける等行政的判断をする<b>こと。</b></p> <p data-bbox="1176 734 2072 901">砂防工事、河川工事及び港湾工事等で工事現場が人家あるいは通行者の利用場所等により離れている場合は工事現場進入口、工事<b>現場箇所</b>付近等の工事標示板の設置効果があると思われる位置に設置する<b>こと。</b></p> <p data-bbox="1120 1268 1332 1316">(設置場所)</p> <p data-bbox="1153 1340 2072 1412">１．設置場所はできるだけ公共用地とし、道路管理者、河川管理者等それぞれの管理 者の承諾を得ること。<b>また、交通管理者からの指摘や</b></p>



新旧対照表（令和 8 年 2 月 1 日適用）

現行	改定後
<p>2. 設置にあたって兵庫県屋外広告物条例により次の箇所は禁止されているので留意されたい。</p> <p>屋外広告禁止物件（条例第 2 条第 2 項）</p> <p>（1）橋梁及びトンネル （2）街路樹及び路傍樹 （3）銅像、神仏像及び記念碑</p> <p>（4）歩道柵、防護柵、信号機及び道路標識、航路標識その他これに類する標識</p> <p>（5）公衆電話、郵便ポスト及び公衆便所</p> <p><b>（工事標示板の記載内容）</b></p> <p>1. 工事名称は、予算分類上の事業名称（例えば道路特殊改良 2 種事業、河川激甚災害対策特別緊急事業、港湾公害防止対策事業など）はできるだけ使用しないものと</p> <p>し、工事内容のわかる一般的、平易な名称を用いるものとする。</p> <p>注）「標示板設置」に係る規定中「土木」とあるものは、「治山、林道」もしくは「森林土木」と読み替えるものとする。</p>	<p>地元からの要望があった場合は、設置場所を検討するものとする。</p>

新旧対照表（令和 8 年 2 月 1 日適用）

現行		改定後																																
<div>標示工事名称例</div> <table><tr><th>事業名</th><th>表示工事名称（例）</th><th>事業名</th><th>表示工事名称（例）</th></tr><tr><td>永 久 橋 架 換</td><td rowspan="3">橋梁工事</td><td>港 湾 高 潮 対 策</td><td>防波堤工事、物揚場工事（等）</td></tr><tr><td>橋 梁 整 備</td><td>港 湾 環 境 整 備</td><td>浚渫工事（等）</td></tr><tr><td>橋 梁 補 修</td><td>流 域 下 水 道</td><td>下水管工事、下水処理場工事（等）</td></tr><tr><td>道 路 改 良</td><td rowspan="2">道路工事 （道路拡幅工事）</td><td>災 害 復 旧 助 成</td><td rowspan="2">河川（砂防）改良 復旧工事</td></tr><tr><td>特 殊 改 良 1 種</td><td>災 害 関 連</td></tr><tr><td>特 殊 改 良 4 種</td><td>舗装工事</td><td>広域一般河川改修</td><td rowspan="2">河川工事</td></tr><tr><td>道路交通安全施設整備</td><td>歩道工事、自転車道工事、歩道橋工事（等）</td><td>広域基幹河川改修</td></tr><tr><td>通 常 砂 防</td><td>砂防えん堤工事</td><td>街 路</td><td>舗装工事（道路工事）</td></tr></table>		事業名	表示工事名称（例）	事業名	表示工事名称（例）	永 久 橋 架 換	橋梁工事	港 湾 高 潮 対 策	防波堤工事、物揚場工事（等）	橋 梁 整 備	港 湾 環 境 整 備	浚渫工事（等）	橋 梁 補 修	流 域 下 水 道	下水管工事、下水処理場工事（等）	道 路 改 良	道路工事 （道路拡幅工事）	災 害 復 旧 助 成	河川（砂防）改良 復旧工事	特 殊 改 良 1 種	災 害 関 連	特 殊 改 良 4 種	舗装工事	広域一般河川改修	河川工事	道路交通安全施設整備	歩道工事、自転車道工事、歩道橋工事（等）	広域基幹河川改修	通 常 砂 防	砂防えん堤工事	街 路	舗装工事（道路工事）		
事業名	表示工事名称（例）	事業名	表示工事名称（例）																															
永 久 橋 架 換	橋梁工事	港 湾 高 潮 対 策	防波堤工事、物揚場工事（等）																															
橋 梁 整 備		港 湾 環 境 整 備	浚渫工事（等）																															
橋 梁 補 修		流 域 下 水 道	下水管工事、下水処理場工事（等）																															
道 路 改 良	道路工事 （道路拡幅工事）	災 害 復 旧 助 成	河川（砂防）改良 復旧工事																															
特 殊 改 良 1 種		災 害 関 連																																
特 殊 改 良 4 種	舗装工事	広域一般河川改修	河川工事																															
道路交通安全施設整備	歩道工事、自転車道工事、歩道橋工事（等）	広域基幹河川改修																																
通 常 砂 防	砂防えん堤工事	街 路	舗装工事（道路工事）																															
<p>2. 標示図は地域住民等が内容をよく理解できるように図を主体として記載するものとする。</p> <p>なお標示図はペンキ等で鮮明にかつ美観をそこなわないように記載するものとする。</p> <p>3. 事業費の標示は、当該工事に関して施工箇所を含む附近市町区域に兵庫県が社会資本の整備としてどれ位投資しているかを標示しようとするものであり、工事契約金額でなく、事務費、用地費、補修費等の当該工事の案分を含めたその概算額を1千万円特級単価（以下は切上）で表示する。</p> <p>全体事業費は、橋梁設備事業、河川災害復旧助成事業、河川災害関連事業等を1単位として、位置的に、かつ金銭的に全容の把握が可能な事業の事業費を示すものとしいわゆる5ヶ年計画など許可額にこだわるものではない。</p>																																		

新旧対照表（令和８年２月１日適用）

現行	改定後
<p>全体事業費や全体完成予定年次の把握が困難または変動性がある等、表示することが適当でないと所長が判断した場合は、表示は省略できる。</p> <p>４．土木工事共通仕様書により工事請負者に対して工事標示板を該当基準により設置することを義務づけているが、事業費、全体事業費又は全体完成予定年次は監督員から指示するものとする。</p> <p>注）上表の事業名・表示工事名称については適宜当該工事に対応する文言に、又、本文中の「土木工事共通仕様書」は本仕様書と読み替えるものとする。</p>	<p>（花と緑あふれる美しい県土づくりシンボルマークの表示について）</p> <p>１．表示の目的</p> <p>兵庫県が推進している「花と緑あふれる美しい県土づくり」について、県民の理解と協力を求め、その周知を図ることを目的とする。</p> <p>２．表示の対象</p> <p>原則として、治山、林道及び林業構造改善事業の工事現場に表示する。ただし、次の（１）～（２）に該当する場合は、表示しなくてもよいこととする。</p> <p>（１） 工事期間が比較的短い工事</p> <p>（２） その他、発注者等が不適当と認めたもの</p>

新旧対照表（令和８年２月１日適用）

現行	改定後
	<p>３．表示の方法</p> <p>（１） 標示板又は、仮囲いに表示する。</p> <p>（２） 表示する場所は、県民の目につきやすい高さ・位置とする。ただし、花と緑あふれる美しい県土づくりのイメージを損なうことのないよう配慮する。</p> <p>（３） 新しいシンボルマークのデザイン・色彩・大きさ等については、別紙のとおりとする。大きさは、表示する標示板に応じて変更して差し支えないが、全体を均一に拡大・縮小して、全体のバランスを保持する。</p> <p>（４） 表示期間は、当該工事の実施期間中とする。</p> <p>（５） 標示板等以外で表示する場合についても、上記に準じて取り扱うものとする。</p> <p>４．その他</p> <p>上記２及び３によりがたい場合は、１の主旨に照らし、独自の方法でシンボルマークの表示を行うこととして差し支えない。</p>

新旧対照表（令和 8 年 2 月 1 日適用）

現行	改定後																				
	<div><div>(別紙)</div><div>工事現場において表示するシンボルマーク</div><div><div><div>950</div><div>450</div></div><div>花と緑あふれる美しい 県土をつくりましょう</div><div></div></div><div>※図柄と文字のバランスは、上図を参考とする。</div><div><div>図 6</div><div>花と緑あふれる美しい 県土をつくりましょう</div><div></div></div><div><div>マスコット展開図使用色</div><div><table><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr><tr><td>C/100 M/60 DIC 641</td><td>C/90 M/20 DIC 181</td><td>C/90 Y/100 DIC 638</td><td>M/10 Y/100 DIC 166</td><td>M/40 Y/100 DIC 163</td></tr><tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>M/100 Y/90 DIC 157</td><td>K/100 DIC 582</td><td></td><td></td><td></td></tr></table></div><div>注) 花卉や下地は、白色とする。</div></div></div> <div>第 30 条 仮設工事等</div> <div>第 29 条 仮設工事等</div>	1	2	3	4	5	C/100 M/60 DIC 641	C/90 M/20 DIC 181	C/90 Y/100 DIC 638	M/10 Y/100 DIC 166	M/40 Y/100 DIC 163	6					M/100 Y/90 DIC 157	K/100 DIC 582			
1	2	3	4	5																	
C/100 M/60 DIC 641	C/90 M/20 DIC 181	C/90 Y/100 DIC 638	M/10 Y/100 DIC 166	M/40 Y/100 DIC 163																	
6																					
M/100 Y/90 DIC 157	K/100 DIC 582																				

新旧対照表（令和８年２月１日適用）

現行	改定後
第 31 条 林地保全の義務 第 32 条 県内産品の使用 第 33 条 管路の管周りの埋戻し材に使用する再生砂の品質規格 第 34 条 木材一般 第 35 条 セメントコンクリート製品 第 36 条 緑化工・植生工・植栽工などの緑化における植物種の選定について 第 37 条 兵庫県営林道事業における種子配合等 第 38 条 苗木及び植栽材料 第 39 条 道路照明灯 第 40 条 路盤紙 第 41 条 基礎工 第 42 条 石積（張）工及びコンクリートブロック積（張）工 第 43 条 鉄線かご工 第 44 条 木矢板工 第 45 条 鋼矢板工 第 46 条 コンクリート矢板工 第 47 条 残土施工 第 48 条 地山補強土工（鉄筋挿入工） 第 49 条 コンクリート工 第 50 条 コンクリートポンプ工 第 51 条 型枠・支保工 第 52 条 マスコンクリート 第 53 条 暑中コンクリート 第 54 条 寒中コンクリート 第 55 条 水中コンクリート 第 56 条 モルタル 第 57 条 治山ダム工 第 58 条 護岸及び水制工 第 59 条 土留工及び擁壁工	第 30 条 林地保全の義務 第 31 条 県内産品の使用 第 32 条 管路の管周りの埋戻し材に使用する再生砂の品質規格 第 33 条 木材一般 第 34 条 セメントコンクリート製品 第 35 条 緑化工・植生工・植栽工などの緑化における植物種の選定について 第 36 条 兵庫県営林道事業における種子配合等 第 37 条 苗木及び植栽材料 第 38 条 道路照明灯 第 39 条 路盤紙 第 40 条 基礎工 第 41 条 石積（張）工及びコンクリートブロック積（張）工 第 42 条 鉄線かご工 第 43 条 木矢板工 第 44 条 鋼矢板工 第 45 条 コンクリート矢板工 第 46 条 残土施工 第 47 条 地山補強土工（鉄筋挿入工） 第 48 条 コンクリート工 第 49 条 コンクリートポンプ工 第 50 条 型枠・支保工 第 51 条 マスコンクリート 第 52 条 暑中コンクリート 第 53 条 寒中コンクリート 第 54 条 水中コンクリート 第 55 条 モルタル 第 56 条 治山ダム工 第 57 条 護岸及び水制工 第 58 条 土留工及び擁壁工

新旧対照表（令和 8 年 2 月 1 日適用）

現行	改定後
<p>第 60 条 山腹工</p> <p>第 61 条 固定工（ロープネット工）</p> <p>第 62 条 防災林造成</p> <p>第 63 条 森林整備</p> <p>第 64 条 橋梁工</p> <p>第 65 条 熱中症対策に資する現場管理費の補正について</p> <p>第 66 条 土砂等の搬出に係る過積載防止対策</p> <p>第 67 条 通行許可</p> <p>第 68 条 法定外の労災保険の付保</p> <p>第 69 条 舗装の切断作業に伴い発生する濁水等の適正処理</p>	<p>第 59 条 山腹工</p> <p>第 60 条 固定工（ロープネット工）</p> <p>第 61 条 防災林造成</p> <p>第 62 条 森林整備</p> <p>第 63 条 橋梁工</p> <p>第 64 条 熱中症対策に資する現場管理費の補正について</p> <p>第 65 条 土砂等の搬出に係る過積載防止対策</p> <p>第 66 条 通行許可</p> <p>第 67 条 法定外の労災保険の付保</p> <p>第 68 条 舗装の切断作業に伴い発生する濁水等の適正処理</p>